

関東団地少年野球連盟

千葉支部大会運営規則

令和8年2月改正

「大会規約」

1. 本連盟が主催する、千葉支部大会はすべて日本公認野球規則及び全日本軟式野球連盟の「学童の部」の要項に基づく。
2. 第1項の他 店次の連盟 大会規則も設定し、「連盟大会規則」が優先する。
3. 本大会・ジュニア大会とも本規約を適用する。

「連盟大会規則」

1. 登録選手 及び指導者
 - (1) 登録する選手は、連盟規定のフォーマットで作成し提出すること。
 - (2) 登録された 監督とコーチは監督 30点 高知 28と29のユニフォームを必ず着用すること。またチーム 代表者・スコアラーはチームの帽子を着用し点指導者としての服装を着用する。
 - (3) 登録する選手は1チーム 20名以内を原則とする。
 - (4) チーム編成は本大会は 6年生、ジュニア大会は5年生とする。ただし、選手の在籍数により、次の配慮を行う。
 - a. 選手登録は。本大会の部（6,5,4年生）、ジュニアの部（5,4,3年生）ともに 11名以上での編成が望ましい。やむを得ず、上記以外の下級生を登録するチームは、チームの責任において、事故等に最大限の配慮をする。また、試合中に危険がある場合は、試合途中での棄権を認める。
 - b. 上級生の部員不足でチーム編成ができない場合に限り、下級生の2部にわたる 登録を認める。（ダブル登録）同一学年で12名の在籍登録があるチームは、そのチームで試合が可能とみなし、試合予定を組む時に試合時間調整等を考慮せず 試合を組むことがある。
 - c. 連盟 登録チームで、本大会の部（6・5・4年生）、ジュニアの部（5・4・3年生）において 10名以下のチームの、2チーム連合での各大会毎の参加を認める。（2 チームで 10名以下の場合は、連合を 3チームまで認

める。連合での参加は同一地区チームで合同練習ができることが望ましい。)

- ①連合での参加を求めるチームは、大会抽選会までに事前に登録選手名簿を当該支部長に提出し、承認を必要とする。
 - ②チーム名は両チーム併記とすることが望ましい。
 - ③統一されたユニフォームが望ましい。個々のチームのユニフォームも可とするが、背番号は統一されていること。
 - ④連盟登録チームで、登録外チームとの連合はチーム名を連盟登録チーム、統一されたユニフォームとする。
- (5) 中央大会の出場メンバーは、支部大会申し込み時に提出されたものに基づく。
 - (6) 代表者会議（抽選会）には必ず代表（監督）が定刻までに出席すること。代理抽選は原則として認めない。

2. 試合

- (1) 大会の試合イニング数は6回戦とする。
- (2) 試合時間は、試合開始後1時間30分経過した時は、新しいイニングに入らない。なお、勝敗が決しない場合は、特別延長戦を1イニング行い、それでも決しない場合は試合終了時の9選手によるOXの抽選を行い、勝敗を決める。
- (3) 決勝戦は、規定イニング、規定時間内での同点の場合でも延長戦を行わずただちに特別延長戦（タイブレーク）を適用する。特別延長戦（タイブレーク）は一死満塁を設定し、打者は最終回の次打者（継続打順）からとする。その回数は2イニングまでとし、勝敗が決しない場合は抽選とする。
- (4) 試合成立
決勝戦を除き、4回の終了時又は、1時間30分を経過したときをもって試合成立とする。ただし次の場合コールドゲームが成立する。
 - ① 4回以降 7点差以上 差がついた場合
 - ② 降雨、強風等の悪天候や日没、その他試合続行が困難な場合で4回が終了したとき。

3. 試合マナー

- (1) 選手はマナーを守り、言葉と行動を慎むこと。
- (2) チームの集合は、特に定めない限り、試合開始予定時刻 30 分前までに到着し、大会本部(各試合場の責任者)に届け出る。
- (3) チームの応援については、節度とマナーを守ること。スタンドからのマナー違反に対しても監督の責任であり、退場もあり得る。
- (4) 選手交代は 全力疾走のこと。
- (5) 試合中における審判への抗議は、監督 または 当該選手に限る。
- (6) 試合中は、公認J号球とする。
- (7) 投球練習は、初回および 交代時 7球以内、2回以降は4球以内とし、野手間のボール回しは禁止する。
- (8) 打者・走者及びランナーコーチはヘルメットを着用し、捕手は（控え捕手も含む）マスク・レガース・プロテクター・ヘルメットの着用を義務づける（全軟連・学童部に登録されている物）
- (9) 選手の手袋は、単色 に限り 認めるが、リストバンドの使用については認めない。
- (10) 監督がタイムを取り選手に指示を与える場合、ダイヤモンド内とし、速やかに指示を与え行動する。

4. 試合ルール

- (1) 明らかな不正投球は1回目からボークとする。
- (2) 投手は変化球を投げてはならない。審判が変化球と判定した場合は、その旨監督に注意した上で、なおかつ変化球と判定された場合は、現試合に限り 投手になれない。
- (3) ベースは固定式（移動ベース）とする。
- (4) 作戦タイムは、攻撃時 3回、守備時3回の計6回までとする。
- (5) ボールデッド 時の 進塁権は、当該 グランドの定めるところによる。
進塁権A-エンタイトルルツーベース（テイクツー） B-エンタイトルルワンベース(テイクワン) は以下になる。

打球処理直後の内野手の最初のプレーに基づく悪送球であった場合は、投手の投球 当時の各走者の位置、その他の場合は、悪送球が野手の手を離れた時の各走者の位置を基準として

A-2塁の進塁（打者2塁、走者2個）

B-1塁の進塁（打者1塁、走者1個）

与える。

B エンタイトルワンベースの例

- 1) 内野ゴロで内野手が一塁に悪送球をしたとき 当店 打者には一塁を与えるに過ぎない（A 2塁を与える）
- 2) 一塁走者に対する牽制球が、ボールデッドに入った場合、投手板上からの送球も、投手板を外した場合も同じく2塁に進める。
（A 投手板上から2塁、投手板を外した場合3塁）
（打者に対する投球がボール デッドに入った場合、A、B共、走者に1個、打者、四球目、三振目時は、A、B共、打者に1塁を与える）
- 3) 2、3塁間で挟撃プレイ中、野手の送球がボール デッドに入った場合も3塁に留める。（A 本塁）ただし球が野手の手を離れた時、走者がすでに三塁に達していたら本塁を与える。
- 4) 外野に 長打した打者走者が2塁を回った時、外野手がアウトにしようとした 送球（中継した場合は その野手の送球）がボール デッドに入った場合、3塁を与えるに過ぎない。（A 本塁）
- 5) フェアの打球がバウンドしてスタンド および ボールデッド 内に入るか、野手に触れて進路が変わり、1塁又は3塁線外にあるスタンド及びボールデッド内に入った場合、2個の塁が与えられる。（A,B同様）

5. 大会申し合わせ事項

(1) 組み合わせ調整会議

次週の試合の組み合わせは 原則として 大会期間中、毎週日曜日の17:00～18:00に調整会議を行う。

事情により試合開始時間の希望がある場合は申し出ること。

(2) グラウンドの設営

大会会場の設営・整理・後始末は各チーム積極的に協力すること。支部役員・地元チーム関係者はグラウンドキーパーではない。

(3) 試合開始予定時刻になっても到着しない場合は、原則として棄権したものとみなす。

(4) ベンチは、組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。

(5) グラウンドルール

各会場のローカルルールを適用する。

(6) 試合中はグラウンド内での飲食・喫煙をしてはならない。

(7) シートノックは各チーム5分以内とし、後攻・先攻の順に行う。ただしノッカーは監督・コーチに限る。

(8) 先発メンバー表と登録メンバー表に違いがある場合は、本部でカットする。

(9) メガホンは、チームに1個に限り使用を認める。

(10) 参加チームは部員（選手）の学校行事（運動会・参加日等）の日程を把握し大会エントリーをすること。

① チームは学校行事及び学校行事に準じる行事が大会期間中にある場合は、季毎の代表者会議時に書面で届けること。学校行事等の適用は、チーム毎に選手が通う2校を限度とする。

② 感染症等により、選手が登校している学校が休校、学年閉鎖となった場合、その学校または学年に属する選手は試合に出場できない。諸状況を考慮して当該試合に限り、応援選手を追加登録することは認める。

(11) 緊急の試合運営

試合途中における降雨等の処理は、全て会場にて大会本部が決定する。

6. 審判員

(1) 審判は各チーム2名を出す。

(2) 審判は審判服を着用する。審判服は上衣ブルー（長、半袖どちらも可）、下衣グレーとする。防寒着として、黒色または紺色のウインドブレーカー、Vジャン、ブレザー、Vセー

ターの着用を認める。靴は単色黒色とする。また夏季期間は単色白色も可とする。

(3) 審判は先番が球審・二塁、後番が一塁・三塁を担当する。

(4) 審判のローテーションは原則として下記による。

① 当該グラウンドで4試合が行われる場合

第1試合と第2試合の前後、第3試合と第4試合の前後が担当する。

② 当該グラウンドで3試合が行われる場合

第1試合は第3試合の審判、第2試合は第1試合の審判、第3試合は第2試合の審判が担当する。

7. その他

(1) 理事会、支部役員会の決定事項については、参加登録クラブの全員が一致協力し、運営を阻害しないこと。

(2) 選手登録時において、書類記入不備なチームには参加資格を認めない。

(3) 不正行為が行われた場合は、その大会については失格とする。

(4) チームはゴミ袋を持参し、自分たちのゴミは自分たちで必ず持ち帰ること。

(5) グラウンドへの車両乗り入れは、1チーム5台を限度とする。(応援に来られた車両を含む) 各グラウンドの駐車ルールを守り利用すること。

関東団地少年野球連盟

千葉支部大会運営規則

平成16年3月改正

平成19年6月改正

平成22年2月改正

平成23年2月改正

平成24年2月改正

平成25年3月改正

平成28年2月改正

令和4年2月改正

令和8年2月改正